

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公開番号】特開2014-194877(P2014-194877A)

【公開日】平成26年10月9日(2014.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-056

【出願番号】特願2013-70504(P2013-70504)

【国際特許分類】

H 01 M 8/2485 (2016.01)

H 01 M 8/24 (2016.01)

H 01 M 8/0202 (2016.01)

B 23 K 26/21 (2014.01)

H 01 M 8/12 (2016.01)

【F I】

H 01 M 8/24 S

H 01 M 8/24 R

H 01 M 8/02 B

B 23 K 26/20 310 G

B 23 K 26/20 310 N

H 01 M 8/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月23日(2016.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

1つ以上の貫通孔を有する複数枚の板状ワークが積層配置されてなり、前記貫通孔の周囲に形成されるレーザー溶接痕が閉じた経路となるよう、閉回路形状の溶接部位に沿って前記板状ワーク同士がレーザー溶接されてなる燃料電池関連部品であつて、

前記レーザー溶接痕は、複数本の分割レーザー溶接痕により構成されるとともに、前記分割レーザー溶接痕は全体として前記貫通孔を包囲する閉回路形状をなし、かつ互いに前記貫通孔の中心に対して点対称となる複数箇所で交差している

ことを特徴とする燃料電池関連部品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

そして上記課題を解決するための手段(手段1)としては、1つ以上の貫通孔を有する複数枚の板状ワークが積層配置されてなり、前記貫通孔の周囲に形成されるレーザー溶接痕が閉じた経路となるよう、閉回路形状の溶接部位に沿って前記板状ワーク同士がレーザー溶接されてなる燃料電池関連部品であつて、前記レーザー溶接痕は、複数本の分割レーザー溶接痕により構成されるとともに、前記分割レーザー溶接痕は全体として前記貫通孔を包囲する閉回路形状をなし、かつ互いに前記貫通孔の中心に対して点対称となる複数箇所で交差していることを特徴とする燃料電池関連部品がある。